

2020年度（公財）北海道サッカー協会 HKFA プール担当インストラクタースキルアップ研修会② 報告書

研修会名：2020年度（公財）北海道サッカー協会 HKFA プール担当インストラクタースキルアップ研修会②

日 時：2020年 9月13日（日）

会 場：札幌サッカーアミューズメントパーク天然芝、多目的室

講 師：村山尚哉（HKFA審判委員会指導者部部長、JFAサッカー1級審判インストラクター）
山崎裕彦（JFAサッカーS級インストラクター）

参 加 者：強化指定担当サッカー2級審判インストラクター 4名、オブザーバー 1名

2020年度、第2回目の強化指定担当インストラクタースキルアップ研修会を札幌市で開催しました。

第1回目は新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの研修でしたが、2回目は、ガイドラインに沿った新型コロナウイルス対応を十分に行った上での集合研修で行いました。

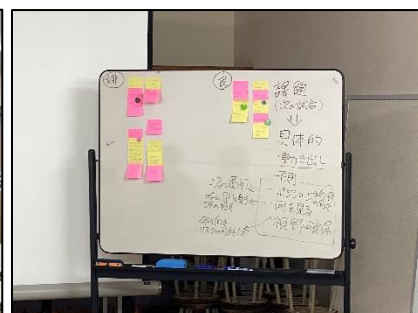
午前中の講義①では、『試合分析のポイント、フィードバックの持ち方、考え方』について、S級インストラクター山崎氏に講義していただきました。アセスメントの目的、評価の判断基準、振り返りのポイント、アセスメントレポートの記入について細かく説明していただき、今後指導していく上での評価の参考となりました。講義②では、強化指定担当インストラクターとしての役割、必要なこと、今後の活動内容、目的についてディスカッションしました。ここ北海道から、最終的には世界で活躍できるような審判員を育成するため、様々な意見を出し合い、今後に向けて前向きな意見交換ができました。

午後からは北海道サッカーリーグにて、試合分析、指導のすり合わせを行いました。

午前の講義で学んだ知識を午後から早速活かし、効率良く、より吸収できる講習会になりました。

まだまだ完全とは言えない状況下ではありますが、今できることを模索しながら前へ進んでいければと思います。

講義	内容
インストラクター集合、開講式	
講義①	試合分析のポイント、 フィードバックの持ち方、考え方
休憩	
講義②	インストラクターとしての役割、必要なこと、 今後の目的と活動内容
昼食	
試合分析	試合分析実践
審判員へのフィードバック	評価、レポートすり合わせ、フィードバック
INS振り返り、まとめ、閉講式	



【参加者コメント】

・山下浩司 氏（函館地区）

今回の研修では、講義やディスカッションなどを行うことでアセスメントの目的がはっきりしました。
また、新アセスメントレポートの解説や実際のレポート記入のヒントなどを学べて非常に良かったです。
もし可能であれば最後の振り返りやわれわれのまとめの時間がもう少しあったらな、と思いました。
自分自身がアセスメントを行う機会があれば今回の内容を活かしたいと思います。
またこのような研修の場を設定していただければと思います。ありがとうございました。

・阿部義秀 氏（札幌地区）

研修会ご苦労様でした。また、ご準備いただきありがとうございます。
S級インストラクター山崎さんの講義を受け、いくら良い指導法を身に付けても、それをどのように活用するかを理解しないと結果、宝の持ち腐れになってしまうことを改めて感じました。
アセスメントで的確に審判員の良いところと今後の改善点を洗い出せるような評価が必要であることに気づけたように思います。
今回のように講義で理論を学び、実践でスキルを磨く。今回のような形態はとても良かったと感じました。
今後もよろしくお願いします。

・橋本和明 氏（札幌地区）

まず最初の感想は、集合研修が久しぶりだったので、それが何より良かったですね。
一緒にお弁当食べながら「完食したら高カロリーだよねえ」なんてことを言いながらの研修はオンラインでは味わえないですから。
23時半に帰宅された村山さんは大変だっと思いますが、このような場を設けていただき感謝申し上げます。
私は午前中だけの参加でしたが、新しい評価基準の考え方、点数のつけ方が少しは理解できたので大変良かったです。
ただ、午後から皆さんと点数のすり合わせができれば、もっと理解が深まったのかなと思います。
今後も新しい評価方式での点数のすり合わせする場をご提供いただけると大変ありがたいです。
よろしくお願いいたします。

・柴田靖士 氏（小樽地区）

今シーズン初の受講者としての研修会参加（Zoom以外）でしたので、新鮮な気持ちで受講することができました。
午前中、アセスメントの目的や、振り返り、レポートの記載方法など、多くのことを学ばせていただきました。
そして、午後、実際に試合分析を行い、審判員と振り返りを実践させていただきました。その中で、

- ・具体的な事象を挙げ課題を明確にすること
- ・その改善方法を審判員から引き出すこと がうまくできませんでした。

どうしても私自身の発言が多くなるので、3：7や2：8を意識して今後取り組んでいきたいと思います。
そして、短い準備時間でも私自身がしっかりと良い準備をして臨んでいきたいと思います。

